

議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月6日(月)午後7時00分～午後8時35分	
開催場所	飯南産業文化センター (2階 研修室1・2)	
委員会名	総務企画委員会	
出席議員	楠谷さゆり委員長 深田 龍副委員長 森 遥香 小野建二 米倉芳周 堀端 脩 久松倫生	
	司会進行者	(第1部) 森 遥香 (第2部) 小野建二・森 遥香
	報告者	深田 龍副委員長・小野建二
	記録者	米倉芳周
参加人数	第1部 11名 第2部 11名	
第2部形式	ワークショップ形式(グループ3班)	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	
委員長の所感	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 坂口秀夫 様

令和 5 年 11 月 13 日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

総務企画委員会

委員長 楠谷 さゆり

第1部用

【主な質疑応答・意見等】

問 令和4年度の決算で、経常収支比率が87%となり、3年度より悪化したとの報告があったが、県下の市の中でも最も高い数字と聞く。大丈夫か。

答 正直申し上げると、現在、市は「ゆとりある財政運営をしている。」と言える。3年度の平均を算出する経常収支比率だが、市債である合併特例事業債を未来投資基金に積み立てする等、借金を基金にする政策等が要因の一つになっている。財政状況は決して悪くない。

4年度末での市の貯金である財政調整基金は116億円となり、16万人都市のレベルでは、考えられない高額な基金となった。

意見 今の説明で、非常時に財政出動できる財源を確保していることが理解できた。安心した。

問 「みえ松阪マラソン大会」について、費用対効果はどうか。

答 市の発表では、この大会による経済効果は7億円としている。

これから継続していく中、数々の改善点もあるが、松阪を全国へPRすることで、あらゆる効果も広がり経済効果だけではなく、社会的効果もあると考える。市の財政にも影響はない。

意見 決して「みえ松阪マラソン」に反対しているのではない。今後、この大会を起点として、是非、市の観光事業に繋げていただきたい。

第2部用

【テーマ：安全なまちづくりについて】

【開催形式】

ワークショップ形式（3班）

Aグループ 担当：森 遥香・米倉芳周

①地域で頑張っている防災の取組み

【意見等】

- ・年に1回、地域の出合いの際、消火栓やホース等の消防点検を実施。
- ・農業用水は、用水路からパイプラインに変更して供給しているが、使用しなくなった旧用水路は、撤去せずに地域で維持管理を継続し、雨天時の排水路として活用している。

②近年、地域で問題になっていること

【意見等】

- ・櫛田川の堆積土について、桑瀬橋から茶倉間の下流部分100m区域に堆積土があり、大雨等の悪天候の際、北出地区に影響が生じるため、浚渫工事を願う。（県へ要望書を申請したが、なかなか実施されない。）
- ・飯南・飯高地域は、特に防災行政無線が聞こえない。悪天候時は行政無線が放送していることもわからないことも多々ある。
- ・粥見地区での地区防災計画作成に関して、地区が広域であるため、地域ごとにそれぞれ状況の相違があり、一本化が困難である。まず、地域ごとに詳細を定める作業がいる。今、その状況である。
- ・飯南地域振興局庁舎の老朽化。地域振興課が設置されている増築部分の耐震化がされていない。雨漏りも深刻である。
- ・避難場所として指定されている下郷地区センターの老朽化。
- ・国道166号線から井尻遺跡へ向かう368号線道路の法面の除草作業が数年以上実施されていない。森のように茂って伸びきった樹木は下部に位置する住居家屋に達するほどである。早急な対応を望む。（要望書を申請したが、なかなか実施されない。）

③これから地域で問題になると心配していること

【意見等】

- ・国道 166 号線が土砂崩れ等により寸断され、地域が孤立化されること。
- ・人口減少に伴い、地域の消防職員が減員されること。(後日、消防署の職員数についてここ数年の著しい減少はないと確認した。)
- ・緊急出動時、地域の複雑な道を理解しておらず、立ち往生する救急車がある事実も踏まえ、緊急出動に遅滞の懸念もある。地域の事情に詳しい地元消防職員の配置を願う。

Bグループ 担当：深田 龍・小野建二

①地域で頑張っている防災の取組み

【意見等】

- ・自治会単位（仁柿地区）の防災訓練を年 1 回から 2 回に増やし、2 箇所で開催を実施したことで、参加者が増加した。
- ・親密な近所関係を維持することに心がけている。
- ・地区防災計画の見直しを行っている。

②近年、地域で問題になっていること

【意見等】

- ・地域での人口減少に伴い、住民の高齢化が進み高齢者の増加が問題視されている。それにより高齢者の単身世帯が増え、地域の活動への参加もしにくくなっている。
- ・台風の際、消防団活動で独居老人の名簿が示されたが、個人情報の問題もあり、活用を戸惑った経緯がある。
- ・有事の際、助ける側の人手がない。(高齢者増加のため)
- ・地域においては、高齢者とそうでない者の比率は 5 分 5 分ではなく、アンバランスが生じている。
- ・有事の際、高齢者が身を寄せる（一時避難）場所の確認作業を実施している。
- ・有事の際、パニックになってしまい、日頃の訓練が活かされないのではないかと心配であり不安でもある。
- ・地域の備蓄品が足りないのではとの不安がある。
- ・山林の荒廃による土砂災害等の不安。
- ・市の予算減少による地域イベントの縮小がある。
- ・地域を守ってくれる消防団員の減少傾向に不安。

③これから地域で問題になると心配していること

【意見等】

- ・国道 166 号線をはじめ、地域の各道路の災害による長期寸断。
- ・飯南中学校の近くに位置する川の著しい蛇行状態が被害を生むのではと不安がある。
- ・避難所のスペースの不足を懸念。
- ・建物・インフラ等の老朽化。
- ・台風等の際、橋脚に木々が詰まり川が越水する。

Cグループ 担当：堀端 脩・久松倫生

①地域で頑張っている防災の取組み

【意見等】

- ・地区の4地域合同訓練を実施。

②近年、地域で問題になっていること

【意見等】

- ・国道 166 号線等の土砂崩れによる地域の分断。
- ・地区防災計画の策定への立ち上げ。
- ・宮前地区のように、「防災は、地域の力」との思いで、防災に注力することが重要。
- ・中山間地域での停電対策を計画的に行うこと。
- ・移住者や高齢者、若者等の世代間での情報共有を密にして、コミュニティを維持する必要性。
- ・避難所は安全なのか。

③これから地域で問題になると心配していること

【意見等】

- ・あらゆる場面での地域のリーダーを育てる必要性。(地域リーダーを担う者の減少)
- ・高齢化が著しく進んでいる中、あらゆる場面で支障となる急斜地及びその周辺地域への安全対策。
- ・今後、より一層の高齢化が進むことを考慮した安全対策。

委員長所感

○各グループの発言内容で一致していたことは、①飯南地域の背骨的な存在である国道 166 号線の土砂災害等による寸断。②高齢化が著しい状況下で、訓練や会合等、あらゆる場面での支障懸念。③施設・インフラ等の老朽化、であったと考える。

①番の道路寸断は、地域において致命的な現象を起こすことは、住民は過去すでに経験をしているので、長期に亘る人流、経済の停滞の恐怖を踏襲している結果だと思う。県もそのことも踏まえ、予算化され、事前に危険と思われる箇所は被害を想定して改修工事を実施している。このことは地元も評価していた。今後も継続を願うばかりである。

②番に関しては、中山間地域ではなく全市的ではあるが、人口の少ない地域においては、深刻であると感じた。有事の際、地域においては、高齢者を高齢者が救助しなくてはならない状況にあり、自助・共助の範囲にも限界がある。消防団員も減少状態にある中、今後、大きな問題だと考える。また、地区防災計画の必要性は各地域では認識しているが、具体的な策定は前述のこともあり、困難を要していると感じた。

③番の施設・インフラの老朽化は、避難所等の安全性にも関与することもあり、地域の不安は理解する。特に飯南地域振興局の建物の一部が、耐震化がなされていない状況には驚いた。万一の時、人が集うであろう施設の一部ではあるが、耐震化がなされていないという状況は早急な対処、改善が必要である。

○今回の議会報告会においては、財政状況の質問もあり、市政を深く見ていただいていることへの感謝と、地域住民の防災についての認識の高さにも改めて共感できた。地域においての最大の問題点・課題は、著しい人口減少と高齢化であり、それが、様々な施策に影響している実態を認識した。

議会報告会の様子

